

兵庫県のに漁場環境情報 (東播海域 1号)

2021年10月14日発行
 兵庫のに研究所

この海域全域で大型珪藻コシノディスカスの大量発生が確認されました。窒素は、林崎漁場から別府にかけての地先は概ね2~3 $\mu\text{g at/L}$ 台でありましたが、東播漁場沖筋は概ね1 $\mu\text{g at/L}$ 台、加古川以西では1 $\mu\text{g at/L}$ 以下の低い値となっています。

(水温) 漁場内平均24.7℃ (平年比+1.3℃、昨年より高い)。(塩分) 平均30.97psu。

(栄養塩、珪藻) 播磨灘全域でコシノディスカスが多く発生しており、この海域では特に林崎から別府周辺にかけて非常に多く(海水1Lあたり1500~5000細胞) 確認された。それ以外の海域については、大阪湾水の影響が見られる明石海峡部で400細胞、加古川以西で海水1Lあたり100~500細胞であった。窒素は地先で概ね2~3 $\mu\text{g at/L}$ 、沖筋で1 $\mu\text{g at/L}$ 台であった。海域西部は概ね1 $\mu\text{g at/L}$ 以下と低い値であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温		24.7	23.4	22.9
窒素		2.0	5.6	1.0
リン		0.40	0.59	0.31

(10/17)

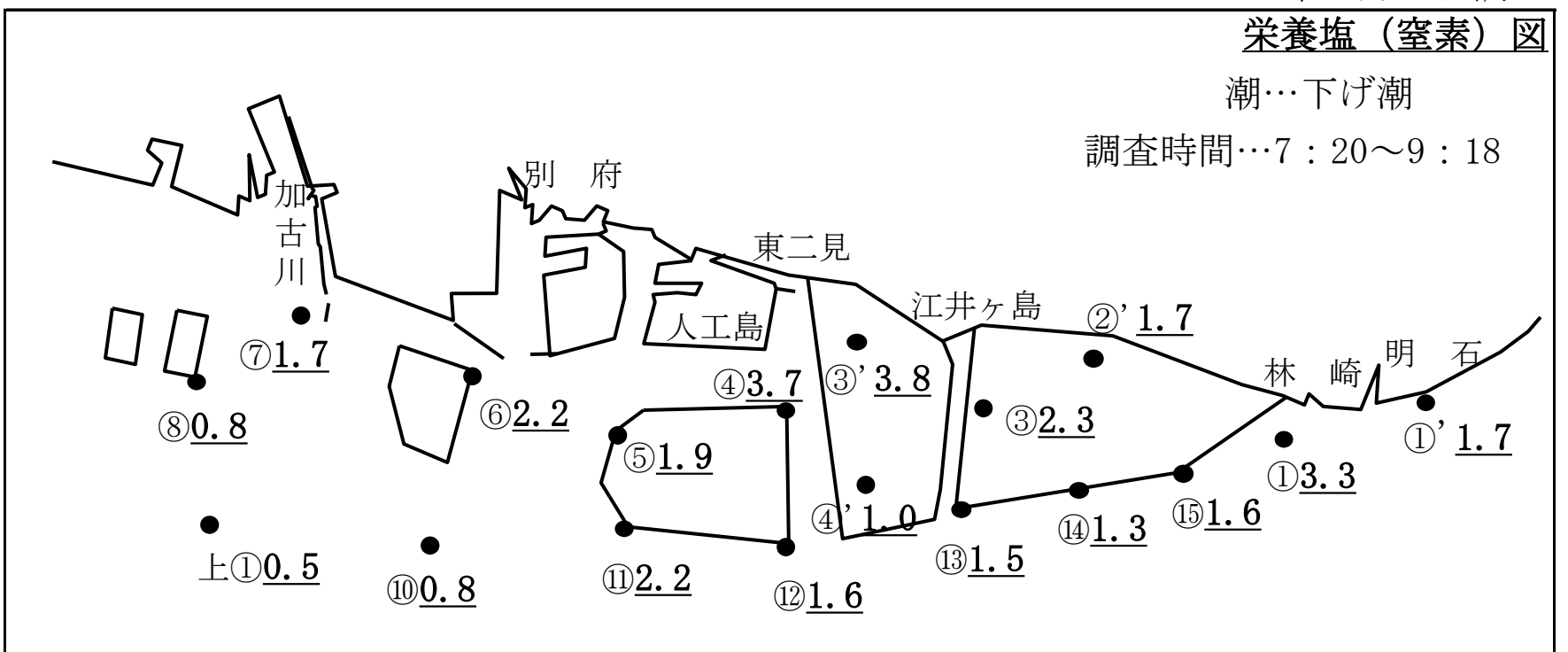
西播地先 (10月12日採水分)			
伊保地		伊保沖	
窒素	0.8	窒素	0.4
リン	0.35	リン	0.29

2021年10月14日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮…下げ潮

調査時間…7:20~9:18



水温図

